

No.25
2004年 8 月15日

いい旅

Peace
Green
Humanity

いい仲間

発行所：(株) 富士国際旅行社
編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会
〒160-0022 東京都新宿区
新宿2丁目11-7 第33宮庭ビル4階
☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317
E-mail：gm@fits-tyo.com
URL：www.fits-tyo.com
印刷・光陽メディア(株) 発行部数・25,000部



千の顔をもちし神祕の国

エチオピア

田中真知

千の顔をもった女神？！
エチオピアというと、なにが
思い浮かぶだろう。マラソン選
手？ 美味しいコーヒー？ シバ
の女王の伝説？ はたまた下唇
に陶器の皿をはめこむ特異な風
習？ あるいは、世界遺産にも
なっている、岩をほりぬいた壮
麗な教会群だろうか。

エチオピアを何度か訪れ、こ
の不思議な国について知るにつ
け、ぼくにはこの国がまるで千
の顔をもった女神のように思え
てならない。それほどまでに、
この国にはバラエティに富んだ、
奥深い、魅力的な顔がある。人
類発祥のルーツの地としての顔、
インドや中国とも交流のあった
古代アクスム帝国の顔、スビル
バーク監督のインディ・ジョー
ンズ『レイダース 失われたア
ーク』のモチーフとなった「失
われたアーク」をめぐる驚くべ
き伝説の生きる国としての顔、
神秘的なキリスト教国としての
顔、多様な民族と特異な文化の
るつぼとしての顔、青ナイル川
の水源として多くの探検家の憧
れを誘った顔。

古代と現代が共存する国
なにより驚かされるのは、こ
の国では数千年前の過去の伝統
や文化が、現代という時代の中
に、今なお生き続けていること
だ。たとえば、エチオピアとも
深い交流のあったエジプトには
多くの壮麗な遺跡があるが、そ
れらはいずれも過去の遺産であ
り、現代の文化とは直接関係が
ない。ところが、エチオピアは
違う。教会に行けば、そこにほ
くたちは、三〇〇年前のエジ
プトの壁画に描かれているのと

同じ儀式が、目の前でくりひ
ろげられているのを目のあたりに
するし、ナイル水源の村に行け
ば、やはり壁画に描かれている
のとそっくりなパピルスの舟が
いまでも用いられているのを見
ることができる。

この国を旅していると、古代
と現代という時間的断絶がなく
なり、自分が時を超えた不思議
な時間の中に投げ込まれたよう
な錯覚に陥るのだ。遺跡を前に
過去を偲ぶのではなく、過去の
時間の中にすっぽりと投げ込ま
れてしまうのである。こんな不
思議な体験のできる国は、めつ
たにない。

日本とエチオピアの接点
神秘的なエキゾチズムにあふ
れたエチオピアだが、一方そ
の繊細で穏やかな人びとの雰

皆様と共に歩んで
40th anniversary
Peace Green Humanity

ヨーロッパ往復航空券やコンサートチケットが 抽選で当たる！
富士国際旅行社 創業40周年記念
謝恩プレゼント

< 2・3面をご覧下さい。 >

1

ご招待チケットプレゼント

ウィーン・フィルのトップ奏者と
ピアニスト、フォーク・陽子による
ウィーンピアノ五重奏団

室内楽のタベ



出演

ペーター・ヴェヒター(バイオリン)／ヘルムート・ヴァイス(ヴィオラ)／ヨアゲン・フォーク(チェロ)
／マンフレート・ヘッキング(コントラバス)／フォーク・陽子(ピアノ)

[プログラム]

フンメル：ピアノ五重奏曲 ニ短調 op.74
ブラームス：ピアノ五重奏曲 ト短調 op.25（コントラバス付）ほか

10月21日(木) 午後7:00開演 京都府民ホール「アルティ」

抽選で100名様ご招待

11月 1日(月) 午後6:30開演 東京・トッパンホール



ペーター・ヴェヒター(バイオリン)
1941年ウィーン生まれ。22歳でウィーン・フィルに入団。数々の功績により、ウィーン・フィル管弦楽団から名誉指揮を授与されている。



フォーク・陽子(ピアノ／浦田陽子)
東京生まれ。1969年、ロンブロ・シュデバノフ・ピアノコンクールで第一位。74年、国際室内楽コンクールのピアノ・トリオ部門で夫とともに第一位を獲得。

四〇周年にあたり
日頃のご愛顧に、心から感謝申し上げます

富士国際旅行社 代表取締役 市原 芳夫

富士国際旅行社は海外旅行が自由化された一九六四年に誕生しました。

約二〇名規模の小さな会社が、激動の世界の荒波を乗り切れたのは、ご利用いただきましたお客様の励ましのおかげです。社員一同、深く感謝申し上げます。

この四〇年間、内外の経済、政治にも大きな変化があり、地域ごとの戦争、テロや感染症など、苦難の連続でした。しかし、創業当時、年間十数万だった海外渡航者が、二〇〇〇年には一七八二万人にも達したように、日本人の生活の中で旅行の占める位置が大きく変化したことは、強い追い風になりました。旅行業界では、大型化や数量のみを求める傾向や、「安さ」だけを売り物とする傾向が主流でしたが、わが社は一貫して、お客様の真のニーズにこたえ、お客様の事業の発展に役立つ旅づくりを心がけてまいりました。とりわけ、平和・環境・人権・福祉・教育などの分野で歩みを続けられたことが、

存続するためのバネとなりました。

しかし、私たちはいまだに力不足であり、一つ一つの旅行の経験を活かすことも、新たなものを生み出す努力も不十分といわざるをえません。

そんなわが社ですが、常に初心に返り、お客様の声をきき、お客様のための旅づくりをすることを基軸にすすめてまいります。平和で、人間的な社会をめざす各分野の運動が発展するよう、旅行の面での引き続きお力添えができることを願っております。

新しい時代の変化を見すえて、世代交代をしながら、五〇周年をめざしてまいります。これからも、よろしくお引き立ての程お願い申し上げます。

ささやかですが、謝恩の気持ちを現すイベント・プレゼント・旅行を用意いたしました。すべてのお客様にいきわたるわけではないことをあらかじめお詫び申し上げます。ふるってご応募下さい。

富士国際旅行社

40周年記念

謝恩プレゼント

①～④のうち一つを選びご応募ください。CD、航空券は、アンケート回答者から抽選。締切は9月30日（映画は先着順）。同封の応募用紙にてお申し込みください。1989年以降に海外旅行で、95年以降国内ツアーで、ご利用いただいた方が応募できます。

CD

抽選で100名様

流行を超え、いつまでも唄い継がれる沖縄の名曲達。
涙をいざない、心がなごむ究極の沖縄コンピレーション

沖縄ソングス～わしたうた～



5月26日発売
東芝EMI
定価 1,950円

収録曲

1 十九の春／朝崎郁恵

2 童神／古謝美佐子

3 安里屋ゆんた／大工哲弘

4 黄金の花／ネーネーズ

5 ファムレウタ／新良幸人パーシャクラブ

6 ていんさぐぬ花／TINGARA

7 さとうきび畑／THE BOOM

8 月ぬ美しや／つちだきくお

9 涙そうそう／NUU

10 芭蕉布／和田弘とマヒナスターズ

11 島人ぬ宝／ノーズウォーター

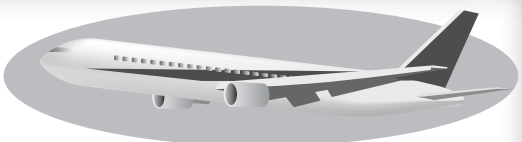
12 恋ぬ花／我如古より子

13 花～すべての人の心に花を～
／喜納昌吉&チャンブルーズ

14 イラヨイ月夜浜／中 孝介

15 島唄／加藤登紀子

抽選で
プレゼント



パリ、ローマ、ウィーンなど

ヨーロッパ往復航空券を
2組4名様にプレゼント

出発

11月17日から2005年3月17日
(ただし、12月23日～31日を除く)

往復エコノミークラス・直行便

同行者、ご希望の都市はお選びいただけます。

現地のホテル、送迎などの手配は別途料金にてお引き受け
します。

抽選会

11月1日

3

ご招待チケットプレゼント

今年、四たびベトナムで歌い
戦争のない平和な地球への想いを歌い続ける

横井久美子 35周年記念コンサート



歌は私に教えてくれた
この世にどれほどの悲しみと痛みがあるかを
歌は私を清めてくれた
命あるものはすべて善きことのために存在すると
たとえ 大地が悲鳴をあげ
憎しみが大地を覆っていても
こんなにも私が 人生を美しく
人々を愛しく感じるのが歌があったから
歌にありがとう 35年もありがとう

横井久美子
1944年名古屋生まれ。国立音楽大学声楽科卒。
平和と人権をテーマに100万人ちかい人々の前で
い続けて35年。海外ではとくに、ベトナム戦争での
枯れ葉剤被害に注目。1973年、94年、2003年に続
いて、今年7月ハノイでコンサートを開く。

10月24日(日) 午後2:00開演 福岡・パピヨン24ガスホール
抽選で20名様ご招待

11月13日(土) 午後6:30開演 名古屋・愛知芸術文化センター
抽選で20名様ご招待

11月21日(日) 午後1:30開演 東京国際フォーラムCホール
抽選で60名様ご招待

2

ご招待チケットプレゼント

日本の伝統芸能と世界のアートをつなぐ二人の奏者
民謡、邦楽が新しい世界を拓き、若い世代も惹きつける

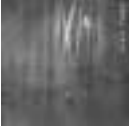
津軽三味線と尺八

〔プログラム〕
津軽三味線 佐藤通弘
津軽じょんがら節、津軽よされ節 他
尺八 吉岡龍見
鶴の巣ごもり 他

11月 1日(月) 午後2:30開演 東京・トッパンホール



佐藤通弘
1957年東京生まれ。70年から
三味線の稽古をはじめ、77年
弘前の演奏を聴き衝撃を受け、
弘前に移り住み修行を積む。
82年、83年二年連続で全国
津軽三味線競技会でA級優
勝する。幅広い人々とのセッ
ションとソロ活動を展開。海外
公演も精力的。今年は7月
にはパリ公演も行っている。



CD 佐藤通弘「月も凍る夜に」



CD 佐藤通弘津軽三味線楽団
「夏・宵・祭」

吉岡龍見(よしおか・りゅうけん)
尺八演奏家・作曲家
1972年尺八演奏家・横山勝也師に入門。
1980年より妻・富元清英と毎年演奏
会を開催。1989年には芸術祭参加公演。
1992年、旧ソ連・タタール自治区カザン
でのタタール音楽祭に招待出演。2002
年には、サッカーの日韓ワールドカップ協
賛公演として、韓国の古楽器とともにヨ
ーロッパツアーを成功させたことをはじめ、
アメリカ・カナダ、ヨーロッパ、ロシア、中国、
タイ、韓国などでさまざまなコンサート
を開催している。
現在、国の内外で演奏・講演・プロデュ
ース活動のかたわら、邦楽の普及・啓蒙
活動も行っている。

4

ご招待チケットプレゼント

人間の生命の尊さを市井の名もなき父子に託して描いた、現代日本の
代表的作家井上ひさし作品の完全映画化

映画「父と暮らせば」

井上ひさし原作／黒木和雄監督／宮沢りえ主演

舞台は原爆投下から3年たっ
た1948年の広島。
自分ひとりだけが生き残ってし
まったことに負い目を抱き、幸
せになることを拒絶しながら生
きている娘・美津江。そんな彼
女の前に原爆で死んだ父・竹
造が幽霊となって現れる…。

広島で14万人、長崎で7万人の生命を一
瞬にして奪い、被爆して生き残った28万人
という多くの人々を後遺症によって苦しめら
れている原子爆弾。
「世界54億の人間に一人として、あの地獄
を知っていながら、『知らないふり』することは、
なにもまして罪深いことだと考えるから書
くのである」(井上ひさし)。＜解説より＞

作品研究「父と暮らせば」 佐藤忠男
こうしたあくまでもヒロインの内的な世界
で描きあげられたこの作品は、なによりも
まず、平和を希求するという精神の粹と
して美しく、その美しさの対極にある原
爆という悪霊をはらうお神楽のような味
わいを持った映画だと思う。

映画「父と暮らせば」パンフレットより



東京・岩波ホール 12月17日まで上映中
〔上映時間〕11：30、2：00、4：30、6：50（月～土のみ）
先着で200名様ご招待

大阪／テアトル梅田 先着で100名様ご招待
北海道／ユナイテッド・シネマ札幌 先着で50名様ご招待
9月初旬からの発送をもって発表にかえさせていただきます。

創業40周年記念謝恩旅行企画

◆お2人から出発。現地では専用車・日本語ガイド付。ご夫婦で、気のあうお仲間と、小グループで、団体の記念企画にご利用下さい。
◆出発日、人数、出発地により旅行費用が変わりますのでお問い合わせ下さい。

秋の北京 5日間

2004年10月8日～11月12日（6コース）
毎週金曜日／成田空港・関西空港・福岡空港発
旅行費用：94,000～159,000円

①午後、日本各空港発 夕刻、北京着
②北京市内見学＝午前、故宮（紫禁城）
午後、盧溝橋、抗日記念館、香山公園、
北京泊③終日、自由行動（希望者は天津
へ1日小旅行、または家庭訪問と餃子づ
くり体験：別途費用）夜、京劇観劇、
北京泊④午前、万里の長城見学 午後、
王府井界隈の散策 夕刻、北京ダックま
たは特別料理、北京泊⑤朝、北京発 夜
午後、日本各空港着



ベトナム南部 ホーチミン市とマングローブの森カンザー 6日間

2004年10月7日～2005年6月30日（37コース）
毎週木曜日／成田空港・関西空港・福岡空港発（年末年始、5月連休を除く）
旅行費用：95,000～158,000円

①午前、日本各空港発 夕刻、ホーチミン
市着②午前、「鉄の三角地帯」クチ見学 午
後、ホーチミン市内見学＝統一会堂、戦争証
跡博物館③ 朝、メコン河口のカンザーへ
午後、枯葉剤の被害を克服し、再生したマン
グローブ林を船で周遊、カンザー泊④午前、
カンザーのリゾートホテルで自由行動 午
後、ホーチミン市着 民族歌舞を見ながら夕
食⑤終日、自由行動 夜、ホーチミン市発
機中泊⑥ 朝、日本各空港着



ベトナム北部 首都ハノイとハロン湾 5日間

2004年10月 7日～10月11日 127,000円
2004年10月28日～11月 1日
2004年11月18日～11月22日 138,000円
2005年1月 13日～ 1月17日
2004年12月23日～12月27日
2005年 1月 6日～ 1月10日 159,000円

募集人員：20名（最低催行人員15名）
全コース：添乗員同行、成田空港発

①午前、成田空港発 午後ハノイ 夕刻、
ハロン湾着②午前、水墨画のような景観のハ
ロン湾クルーズ、昼食は船上で海鮮料理 午
後、自由行動 ハロン泊③朝ハロン発 陶器の村バチャンでお買
い物 ハノイ着 午後、自由行動 夕刻、水上人形劇鑑賞、ハノ
イ泊④午前、ハノイ市内見学＝パディン広場、ホーチミン廟、文廟
午後、自由行動 夜、ハノイ発 機中泊⑤ 朝、成田空港着



◆日本キューバ友好協会◆

スペイン語教室 第27期

開講のお知らせ

スペイン語をマスターして、キューバ、ラテンアメリカに旅行しよう！
この機会にスペイン語に挑戦してみませんか？
経験豊富な日本人講師と2人のキューバ人講師が、あなたの参加をお待ちしております。

開講日程（各クラス全12回）

・2005年1月（月曜日17日・火曜日11日・木曜日13日）から
毎週開講（祝日は原則休講）
・各クラスとも19:00～20:30（90分）



スペイン語会話・入門 木曜日 ヘラルド先生 ＊会話を始めよう
開講日：1/13、20、27、2/3、10、17、24、3/3、10、17、24、31
スペイン語会話・初級 月曜日 ベドロ先生 ＊もう少し話すようになろう
開講日：1/17、24、31、2/7、14、21、28、3/7、14、28、4/4、11
スペイン語・読み書き 火曜日 新藤先生 ＊新聞・雑誌を読んでみよう
開講日：1/11、18、25、2/1、8、15、22、3/1、8、15、22、29
＊各クラスとも、申込〆切日（12月10日）の段階で定員に満たない場合は開講されません。
会場・会費
会場：日本キューバ友好協会事務所 労音お茶の水センター3階 （〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-8） JRお茶の水駅、地下鉄お茶の水駅など
会費：¥15,000（12回分。会場運営費含む。テキスト代は別途） 各クラス第一回開講時にテキスト代（¥2,000ぐらい）を添えてお支払いいただきます。
申込先・申込方法
申込先：日本キューバ友好協会〈スペイン語教室事務局〉 〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-8 労音お茶の水センター3階 TEL/FAX：03-5689-5403 メールアドレス：Japan-Cuba@nifty.com（担当：田端）
申込方法：上記メールアドレスかファックスで希望クラスを連絡の上、お申込みください。
申込〆切：12月10日（金）必着

講師紹介
ベドロ・アントニオ・バジェ・モレリオ
1956年4月キューバ、ハバナ生まれ。サクソ、フルート奏者。数々のバンドで活躍後、ユムリ・イ・スス・エルマノスを結成。プロデューサーとしても活躍する。97年に日本人の夫人と結婚し、翌年から活動の場を日本に移す。現在はリーダーバンド”AFRO CUBANOS”、“トロビカンテ”などで活動中。
ヘラルド・アルベルト・ベカ・セケイラ
1966年3月キューバ、ハバナ生まれ。エンジニア。クバーナ航空のエンジニアとして働いた後、97年に来日。日本人の夫人と結婚し、現在は日本オート・フォートに勤務するかたわら、自宅でスペイン語とサルサを教えている。ドミニカ共和国大使館主催のダンスコンテストで3位入賞の腕前。
新藤通弘
1944年生まれ。1966年中央大学文学部卒。以後30年間にわたりスペイン・中南米諸国との貿易業務に従事。スペイン、中南米主要国をほとんど訪問。かたわら、キューバ、ラテンアメリカ現代史を研究。主な著書に『現代キューバ経済史』（大村書店、2003年）、他論文多数。現在、アジア・アフリカ研究所幹事、明治大学非常勤講師。

私たちのキューバ旅行では、まだそれほど多くの旅行者が訪れていないマエストロ山脈の頂上に近い第一戦線司令部跡を訪ねる。後に革命軍と命名される反乱軍の最高司令官カストロが指揮を執った場所、最重要の革命史跡である。山脈の麓から第二の都市サンティアゴ（デ・クーバ）に向かう途中に、フアン・アルメイダ司令官が指揮した第三戦線司令部跡があり、ここにも行く。ちなみにサンティアゴ郊外には、カストロの実弟ラウル・カストロ司令官が指揮した第二戦線司令部跡もある。

この東部一帯は、十九世紀後半のキューバ独立戦争の戦場であり、カルロスマヌエル・デ・セスペデスが一八六八年に蜂起したバヤモも訪れる。キューバ国歌は、バヤモの戦いを歌っている。サンティアゴでは、独立戦争で死んだキューバ史上最大の賢人とされるホセ・マルティの墓、カストロらが一九五三年に襲撃し革命の原点となったモンカダ陸軍兵営跡なども視察する。近隣のオルギン州ピランのカストロ兄弟の生家も訪問する。

三泊四日かけた東部巡回で、私たちの旅行は佳境に入る。

東部に行く前に二泊する首都ハバナでは革命広場、ホセ・マルティ記念館を見学し、カストロらがメキシコからキューバに進攻する際に用いたヨット「グランマ」も見ると、ハバナ郊外にある文豪アーネスト・ヘミングウェイの邸宅跡（博物館）や、名作『老人と海』の舞台となったコヒマル海岸にも行く。このように「通常の観光」も楽しめる。美しい街トウリニダーに一泊して散策を楽しみ、葉巻工場を見学し、砂糖キビ畑を眺望する。翌日、やはり美しいカマグエイに移動し、ここから一気に東部に向かう。最後の夜は再びハバナで過ごす。自

十一月半ばの私たちの旅は、カストロ体制が実権を十分にもっている社会主義キューバを体験する絶好の機会となる。体制が堅固であるからこそ、

とし六月、マイアミからジャマイカに向かう船旅の途上、キューバ島東部のマエストロ山脈がカリブ海上に浮かび上がるのを見て感激した。この山脈こそ、ほぼ半世紀前にフィデル・カストロやエルネスト・チェ・ゲバラのゲリラ部隊が陣地を構え、時のバティスタ親米独裁政権に革命戦争を仕掛けた「革命の山脈」なのだ。

私たちのキューバ旅行では、まだそれほど多くの旅行者が訪れていないマエストロ山脈の頂上に近い第一戦線司令部跡を訪ねる。後に革命軍と命名される反乱軍の最高司令官カストロが指揮を執った場所、最重要の革命史跡である。山脈の麓から第二の都市サンティアゴ（デ・クーバ）に向かう途中に、フアン・アルメイダ司令官が指揮した第三戦線司令部跡があり、ここにも行く。ちなみにサンティアゴ郊外には、カストロの実弟ラウル・カストロ司令官が指揮した第二戦線司令部跡もある。

この東部一帯は、十九世紀後半のキューバ独立戦争の戦場であり、カルロスマヌエル・デ・セスペデスが一八六八年に蜂起したバヤモも訪れる。キューバ国歌は、バヤモの戦いを歌っている。サンティアゴでは、独立戦争で死んだキューバ史上最大の賢人とされるホセ・マルティの墓、カストロらが一九五三年に襲撃し革命の原点となったモンカダ陸軍兵営跡なども視察する。近隣のオルギン州ピランのカストロ兄弟の生家も訪問する。

三泊四日かけた東部巡回で、私たちの旅行は佳境に入る。

東部に行く前に二泊する首都ハバナでは革命広場、ホセ・マルティ記念館を見学し、カストロらがメキシコからキューバに進攻する際に用いたヨット「グランマ」も見ると、ハバナ郊外にある文豪アーネスト・ヘミングウェイの邸宅跡（博物館）や、名作『老人と海』の舞台となったコヒマル海岸にも行く。このように「通常の観光」も楽しめる。美しい街トウリニダーに一泊して散策を楽しみ、葉巻工場を見学し、砂糖キビ畑を眺望する。翌日、やはり美しいカマグエイに移動し、ここから一気に東部に向かう。最後の夜は再びハバナで過ごす。自

革命の史跡をたどる意義もある。参加者は、「ものの見方・考え方」を新たにして、日本に帰ることになるはずだ。

キューバ革命は来年元日に四六周年を迎える。だが七八歳のカストロの健康不安、経済困難、米国による国際経済・金融界からのキューバ締め出し工作、米国と呼応する国内反革命派の動きなどがある。体制運営は決して楽ではない。しかし体制は依然揺るがず、それはカストロのカリスマに満ちた政治力と、強力な権力機構の存在と、革命支持派が多数派であることによる。

革命の史跡をたどる意義もある。参加者は、「ものの見方・考え方」を新たにして、日本に帰ることになるはずだ。

キューバ革命は来年元日に四六周年を迎える。だが七八歳のカストロの健康不安、経済困難、米国による国際経済・金融界からのキューバ締め出し工作、米国と呼応する国内反革命派の動きなどがある。体制運営は決して楽ではない。しかし体制は依然揺るがず、それはカストロのカリスマに満ちた政治力と、強力な権力機構の存在と、革命支持派が多数派であることによる。



ハバナ旧市街

伊高浩昭（ジャーナリスト）



伊高浩昭氏・プロフィール
一九四三年東京生まれ。元共同通信編集委員。六七年からラテンアメリカ全域をはじめ約六〇カ国・地域を取材。著書は『青春のメキシコ』、『Cuab』砂糖キビのカリテン』、『メヒ』の芸術家たち』、『キューバ変貌』、『コロンビア内戦』、『ボスニアからスペインへ』の傷跡をたどる』など多数。訳書に『ベネズエラ革命』ウーゴ・チャベス大統領の戦い』。

三上満さん同行 世代をつなぐ旅 第3弾 メキシコ

2005年2月7日（月）～16日（水）旅行代金：近日発表

メキシコ市②→オアハカ③→チアパス②→メキシコ市①→機中泊

◇2年前の訪問以来、メキシコの民主勢力から再訪への熱いメッセージ。アメリカの圧力とたたかい、民主化をすすめる者同士だからこそ生まれる連帯と交流への熱い思い。

◇オアハカ州、チアパス州は、先住民文化が色濃く残り、マヤの遺跡やコロニアル都市など世界遺産も多数。メキシコ＝美味しいとも言われるオアハカ州の料理も楽しみ。

春休み親子孫で訪ねる動物王国ケニア

2005年3月25日（金）～4月3日（日）旅行代金：近日発表

機中泊①→ナイロビ②→郊外のケニア人宅②→大自然の中のキャンプ①→ナイバシャ湖①→マサイマラ②→機中泊①

◇大自然の中、人類が生まれた大地で、目の当たりにするゾウやキリン、ライオン、シマウマなど数多くの動物、生命の営み。そんな感動を親子、孫で共有する喜び。最高の春休みプレゼント。

◇歩いて体験するサファリ、湖畔でのキャンプ、ケニア人宅でのホームステイ。富士国際ならではの好評の企画。

◇故小倉さん指名のガイド同行で、安心、安全、快適の旅。

～革命とヘミングウェイ＆カリブ海リゾート～

キューバ周遊とカリブ海の旅9日間

2005年1月21日（金）～29日（土）

2005年3月18日（金）～26日（土）

旅行代金は9月下旬発表

乗継空港①→ハバナ②→サンチャゴ①→バラデロ②→乗継空港①→機中泊①

◇キューバ革命発祥の地サンチャゴデクーバを訪れ、モンカダ兵営博物館やモロ要塞などを見学し、革命の歴史を見聞します。

◇バロック様式の建物が建ち並ぶ、魅力あふれる世界遺産のハバナ旧市街をゆったり散策

◇高級リゾート地バラデロに2連泊、美しい白砂のビーチでゆったりとしたカリブ海の休日をおたのしみいただけます。

◇話題のラテン音楽&ダンスを有名キャバレー「トロビカーナ」で楽しむチャンス。



元共同通信ラテンアメリカ特派員 伊高浩昭さん同行

キューバ革命の足跡といまを訪ねる11日間

2004年11月10日（水）～20日（土）398,000円

乗継空港①→ハバナ②→トリニダー①→サント・ドミンゴ①→サンチャゴ②→ハバナ①→乗継空港①→機中泊①

◇「幸せの原風景」を感じさせる国づくり。その原点、キューバ革命の足跡をじっくりと。独立戦争の英雄で、キューバ史上最大の人物とされるホセ・マルティの生家、カストロ議長の生家や革命を指揮したシエラ・マエストロ山脈の司令部跡、モンカダ兵営……。一般の観光旅行では訪れることのない場所にも多く案内。

◇「カリブ海の真珠」と呼ばれるキューバ。ハバナの旧市街、石畳の美しい古都トリニダーやカマグエイ、そしてサンチャゴ・デ・クーバ。キューバの魅力をつぶりと。

◇伊高浩昭さん同行。記者ならではの豊富な知識と体験に裏付けられたキューバ事情、人々の暮らしの様子をお話しいたします。



日本より進んでいるってホント？

▲▲▲韓国国民基礎生活保障法▼▼▼ 編集委員会

七月一八日東京で開かれた講演会取材してきました。講師は柳 貞順（リュウ ジョンスン）韓国貧困問題研究所所長で、次のような内容のお話で、終了後、ぜひ韓国を訪問して交流しようという話が盛り上がりました。

六〇～八〇年代の韓国の民主化運動は、学生を中心に活発に行われてきました。そのメンバーが国民基礎生活保障法（以後、基礎生活法）をつくる運動の中心になりました。アジアでの通貨危機（一九九七年）を経験した国々はいまだに福祉が削減されている中で、逆に韓国では福祉の予算や制度が拡充されました。その時期の民主化運動は学生だけでなく、女性団体など地方も含めると二〇〇くらいの団体が、基礎生活法を作るための運動を行っています。また、金大中政権も進める原動力の一因になりました。

当時の金政権は生産的福祉（①福祉は慈悲ではなく人権 ②福祉受給者たちの自活意思を重んじる ③国家は福祉を通して経済成長できる）

したが、基礎生活法の重要なことは、最低生計費を国が補償しなければならないし、また権利があることを決めたことにより、基礎生活法制定に拍車がかかりました。一方の労働政策では新自由主義に基づいて、構造改革を進めた結果、基礎生活法の中心である自活活動は、福祉を担当する公務員の数が減らされており、日本同様に市民団体（NGOやNPO）によるところが大きくなっています。現在のノムヒョン政権でも引き続き福祉制度の改善の意思がみられ、今後の動向に注目しています。



柳 貞順 女史の略歴
一九七三年ソウル大学家庭衣類学科卒業、一九八八年アメリカFAULSTICH DOCKSONZ大学卒業、一九九二年韓国・東国大学大学院修士課程終了、一九九六年同大学博士課程終了。（現在）韓国貧困問題研究所所長・福祉連合新聞 客員論説委員など。

「世界の自然もあるく」写真コンテスト&旅行披露会のお知らせ

みんなで集まろう！
合同写真交歓会

当社の「ヨーロッパ・アルプス、春のドイツ・アルプス最高峰と中世の古城を巡る旅、ニュージーランドトレッキング、屋久島、利尻・礼文、白神の自然の旅」にご参加された皆様の「写真コンテスト」を実施させていただくことになりました。今年ツアーにご参加された方はもちろん、過去にご参加された方や、自然の旅行にご興味のある方など、どなたでもお越しいただき、楽しい一時をお過ごしいただきたいと思います。是非ご参加ください。

◆写真コンテスト応募要項◆

- ◇サイズ◇
旅行中、撮影された作品を2Lサイズ2枚まで
- ◇郵送期間◇
9月15日消印で、担当：小関まで
- ◇入賞者発表◇
当日、ご参加いただいた皆様の審査により発表。写真は当日、会場に展示させていただきます。入賞者上位5名様には素敵な賞品を進呈いたします。

日時 9月25日(土)13:30~16:00
会場 西武新宿駅前 鍋茶屋6Fホール
会費 2,000円
(軽食を用意いたします。飲食物持ち込み大歓迎です。)

◎参加ご希望の方は9月17日までに担当・小関までご連絡ください。
◎大阪の写真交歓会は9月23日を予定しております。

（一面より）
気には、私たち日本人と通じるものがある。たとえば各地で目にかかることのできるコーヒー・セレモニー。おそらく世界でいちばん美味なエチオピアのコーヒーだが、その味もさることながら、注目すべきはコーヒー豆を平たいフライパンで煎るところから始める「コーヒー道」ともいふべき独特の作法である。客人をもてなす作法として発展したコーヒー・セレモニーには、どこなく日本の「茶の湯」と相通じる精神が感じられる。

日本人に対してもたいへん親日的だ。エチオピアには三〇〇〇年以上つづいた古い皇室の伝統があったこともあって、一九三〇年代には日本の皇室とエチオピア王家との婚姻の約束も果たたという歴史的な因縁もあるほどである。

また「日本のゴーギャン」といわれた画家・故水野富美夫は、エチオピアの女性の美しさに心底魅了され、この国に三〇年以上住み続け、ひたすら彼女たちを描きつづけた。その作品を通じて、エチオピアと日本は深い縁で結ばれることになった。

さらに余談だが、エチオピアと日本との奇妙な感性の類似を思わせるものに音楽がある。不思議なことにエチオピアの伝統音楽の中には、日本の演歌とそっくりなものが多々あるのだ。実際、都はるみや石川さゆりの歌をエチオピアの人たちに聞いてもらうと、「これはエチオピアの音楽そのものだ」と驚かれるのだ。

不思議な郷愁をおぼえる旅

遠いようで近く、近いようで遠い神秘の国エチオピア。いくら紙面があっても、この国の魅力を語り尽くすことなどできない。だから、人類が初めて立ち上がったといわれる大地に身を置き、世界一の大河ナイルの水源に立ち、いまなお謎に満ちた世界遺産であるラリベラの地下教会のひんやりとした空気を味わい、その最高に美味しいコーヒーを味わい、日本人に近い感性を持った穏やかで静かで繊細なエチオピアの人びとに、ぜひふれてほしい。それはきっと人類のルーツに立ち返る思いとともに、どこか不思議な郷愁をおぼえる、かけがえのない旅の経験となるはずである。

アフリカのつどい

知らなかったアフリカ！

日時：2004年10月9日（土）午後1時～4時
場所：横浜にぎわい座小ホール（横浜市桜木町）
参加費：一般1,500円 学生1,000円
内容◇早川千晶さんの講演（ナイロビ在住15年のフリーライター）
◇アフリカ音楽バンド ブルゲンゲによる太鼓とカリンバの演奏

田中真知・プロフィール
作家・翻訳家。八年にわたるエジプト・カイロに在住。著書に『アフリカ旅物語（凱風社）、ある夜、ピラミッドで』（旅行人）、訳書にエチオピアの失われたアークの伝説を探索したグラハム・ハニコック『神の刻印』（凱風社）など。

生命が躍動する母なる大地へ アフリカ最高峰キリマンジャロと動物王国マサイマラ8日間

2004年10月24日（日）～31日（日）398,000円
機中泊①→アンボセリ①→ナイロビ①→マサイマラ③→機中泊①
◇ゾウやキリン、ヌーなどがサバンナの草をはみ、その背景に雄大なキリマンジャロが広がるアンボセリ国立公園に滞在
◇400万年前の太古の地球の姿を残すと言われ、変化に富んだ地形をもつマサイマラ国立保護区。ビッグファイブなど野生動物の種類も数ももっとも多く、10月にはタンザニアのセレンゲティをめざすヌーの大移動も。
◇マサイマラではキチュワテンポに3連泊。ケニア人の自立支援にも力を入れる高級ロッジ。快適なリゾートで、ゆったりとした至福の休日。
◇ガイドは故小倉寛太郎さん指名のベテラン。『沈まぬ太陽』の世界へ、最高の水先案内人



終わりのなき平原で出会う感動 2つの世界遺産をゆったりめぐるタンザニア10日間

2005年1月7日（金）～16日（日）478,000円
2005年2月4日（金）～13日（日）478,000円
機中泊①→アルーシャ①→タランギレ①→ゴロンゴロ②→セレンゲティ②→アルーシャ①→機中泊①
◇巨大なクレーターの中に広がる動物たちの楽園ゴロンゴロ、「果てしない平原」を意味するセレンゲティ国立公園。2つの世界遺産をゆったり、たっぷり訪ねます。
◇1月、2月はヌーの大群がセレンゲティにきている時期。300万頭の大型ほ乳類、ビッグファイブなど130種類以上の野生動物たちと出会う最高の時期。
◇人類発祥の地とも言われるオールドバイ渓谷。人類最古の猿人に属するアウストラロピテクスの人骨が発見された渓谷を観光
◇ガイドは故小倉寛太郎さん指名のベテラン。『沈まぬ太陽』の世界へ、最高の水先案内人



「人類の起源と古代文明を訪ねて」第一弾 千の顔をもつ神秘の国エチオピア10日間 エジプト在住8年 作家・田中真知さん同行

2005年1月17日（月）～26日（水）543,000円
2005年4月11日（月）～20日（水）近日発表
アディスアババ①→ゴンドール②→バハルダール①→ラリベラ②→アクスム①→アディスアババ①→機中泊
◇数千年前の伝統や文化がいまなお生きている神秘の国エチオピア。1月のコースはエチオピア正教最大の祭り「ティムカット」の時期。現代と古代の融合する儀式をたっぷり見学
◇ラリベラの岩窟教会、ゴンドール、3千年をさかのぼる古都で、モーゼの十戒の石版をおさめたアーク（契約の箱）が安置されているとされるアクスムなど、エチオピアならではの世界文化遺産を訪ねる旅
◇ナイルの水源、多様な民族のつぼ、人類が誕生し、現代にも生きる文化・文明を持つ国を作家田中真知さん、早川千晶さんの同行、解説で訪ねる旅。

「利尻昆布」

①天然化粧箱（500g） 3,500円
②二番切30cm切（150g） 830円
③天然一番切（150g） 1,000円
④天然一番切（300g） 1,850円
⑤利尻一番切（300g） 1,500円
⑥二番切16cm切（230g） 1,150円
◎一番切=昆布の根の方から切ったもので、栄養分が最も高い製品。
◎二番切=一番切の残りを使用した製品。

購入先

吉田水産
〒097-0101 北海道利尻郡
利尻富士町鷺泊字本泊
Tel・Fax：01638-2-1703
代表 吉田 敏

利尻島

天日干し「利尻昆布」

利尻富士町 工藤 等

北の海で育まれる「利尻昆布」。カルシウムやヨウ素などのミネラルが豊富。これら栄養成分は骨粗鬆症や高血圧、脳卒中を予防し、甲状腺ホルモンの栄養にもなります。食物繊維も多く成人病予防の味方です。利尻昆布は、だし昆布。利尻昆布は味づくりと健康を守る力があります。みなさんで北の海に育った利尻昆布、食べましょう。

①

②

③

④

⑤

⑥

完全天日塩「美味海」

2.5kg・6,000円（500g×5袋）

購入方法

電話、ファックス、はがきで、お名前、住所、電話番号、商品のお届け先、商品と数量をお知らせ下さい。お支払いは郵便振替（後払い）です。送料別。

購入先

いのち
生命と塩の会
〒789-17
高知県幡多郡佐賀町佐賀34
Tel・Fax：0880-55-3402
(Tel受付：月～金
AM9：30～AM12：00)

濃縮工程

海水を濃縮するために二つのカン水装置があります。

←ネット架式カン水装置
高さ6mのやぐらを組み、ネットを張り巡らせて高所から海水を噴霧し、循環させます。

ハウス式噴霧装置→
当会独自の装置で、夏場（5～9月）の太陽熱を利用して水分を蒸発させる装置です。

結晶工程

カン水装置で5～6倍に濃縮された海水「カン水」は結晶ハウス内でゆっくり結晶していきます。

約260枚の結晶皿に入れられたカン水は、やさしく揉みほぐすことにより、味もまろやかに粒の細かな塩ができます。

土佐

完全天日塩「美味海」

うまみ

小樽市 芝垣之臣

最近では自然塩と称される商品が多数出回っていますが、大半は輸入した原塩にニガリ（中国産）を加えて溶かし、釜で煮て再結晶させたものです。土佐の「美味海」は、高さ6メートルの噴霧型ネット式海水濃縮設備を使用、太陽熱でゆっくりと自然結晶させた完全天日塩です。高価ですが最高の自然塩として推薦します。

「アンコウ」

2kg・5,000円

「ハタハタ」

メス・2kg・4,000円
オス・2kg・2,400円
混み・2kg・3,500円

「マダラ」

オス・2kg・4,000円

購入方法

八森海鮮紀行
電話：0120-81-4137
(Tel受付：月～金 AM9時～PM4時)
ファックス：0185-77-3387
(商品名、数量、金額、氏名、住所、電話番号・メールアドレスを記入してください。)

秋田

八森海鮮紀行の鮮魚

秋田県藤里町 斎藤栄作 美

白神山地の湧水で育ったミネラル豊富な採れたての旬の魚をおすすめします。全国に知られた八森産ハタハタは冬の食べ物が少なくなる時期に漁獲されるところから神が授けてくれた魚という意味で「鱒」とも書かれ、焼いても鍋にしても美味しいです。また、冬はやっぱりタラ鍋。季節の野菜と一緒に食べてください。

ハタハタ
全国に知られた八森産ハタハタ（12月限定）

アンコウ
鍋通にはこたえられないアンコウ鍋、アンキモ。（9月～12月）

マダラ
冬はやっぱりタラ鍋。季節の野菜と一緒に。（12月～2月）

No.16 当社推薦の宿

奥ヤンバルの里

沖縄県国頭村国頭村字奥1280番地の1
TEL：0980-50-4141 FAX：0980-50-4133
http://www.vill.kunigami.okinawa.jp/okuyanbaru/
E-mail:chanooku@mocha.ocn.ne.jp
空港より国道58号線にて約100km
●自家用車・レンタカー利用 約135分
●沖縄自動車道利用 那覇IC～許田IC 約60分
●路線バス利用 那覇～名護～辺土名～奥

中央部を奥川が流れる緑と清流に囲まれた自然豊かな国頭村奥には、ノグチゲラやヤンバルクイナも生息します。交流館には展示室もあり、奥の人々の社会、歴史・文化を知ることができます。また、当時の面影を残した木造瓦づくりの宿泊施設は、自然に囲まれた中、小川を目の前に点在しており、自炊が楽しめるよう台所も設置してあります。

宮本和郎 日本画展

山と花と人里——日本の自然

会場 有楽町 交通会館B1
ゴールドサロン

日時 11月21日（日）
午後3時～午後6時 <特別公開>
11月22日（月）～26日（金）
午前10時～午後6時
11月27日（土）
午前10時～午後5時

◆5～50号の約50点が展示されます。



ローマ

初めてのローマへの旅

平修

四月定年退職後に、友人のいるハンガリーで四泊とローマで五泊の旅を妻とともにした。

ローマ市内を三日間歩いたが、千年以上もの間ヨーロッパはもとより西アジアから北アフリカまでを広大な領土として支配し、古代世界に君臨したローマ帝国の姿とともに、十四世紀にはじまるルネッサンスを経た歴史が複合的にいたるところに残されている姿に感動した。

五万人収容の円形闘技場「コロッセオ」から、古代ロー

マ帝国の心臓部「フォロ・ロマーノ」と、名だたる観光名所「真実の口」、「トレヴィの泉」、「スペイン広場」へと石畳の道を歩き通した。そして、入場に長蛇の列ができる「ヴァチカン美術館」では、特にシステイナへの礼拝堂にあるミケランジェロの絵画には圧

倒された。

教訓の一、歴史深い街であるからこそ、事前の勉強と適当なガイドブック（シヨッピン グやレストラン以外の）の持参が必要。

教訓の二、石畳を歩くには、履きなれた靴底の柔らかいシューズがベスト。



観光客がたえないトレヴィの泉



オーストラリア人 カーメル・ハワードさんと

教訓の三、海外では特にそうだが「親子連れのスリ」に注意。初日に地下鉄車内と街を歩いていて、二度も親子連れのスリに遭遇。

教訓の四、ローマのガイドさんいわく「EU統合とユーロで毎年のように物価が値上がりしており、本当に大変だ」とのことだが、今年買ったガイドブックで、地下鉄料金〇、七七ユーロが一ユーロに、ヴァチカン美術館入館料も一〇から十二ユーロに値上がりだ。食事をして日本と変わらぬ料金だと実感した。「物価は高い」。

教訓の五、個人旅行であつたので郊外への旅は「日本語ガイドつき日帰りバスツアー」を利用したが、なかなか快適

であつた。一日は「聖サンフランチェスコ」を生んだ町アッシジ。朝ホテルでピックアップされ集合地へ行くと、十数名のうち日本人は我々二人だけだが、日本人ガイドがきっちりついてくれた。昼食時同じテーブルについたオーストラリアから来た三姉妹（七〇歳前後の）と親しくなり、帰国後写真を送ったが「イタリアは歴史が古く、非常に感慨深いもので、もう一度行きたい」と、手紙とメールで便りが届いた。こうした交流も個人旅行なるがゆえかなとも思つた。

そして、私もまた訪れたい国が一つ増えた。近いうちにまた訪れたいとの意を強くしている。

編集後記

昨年、酷暑だったフランスから今年は「朝夕は上着をきないと寒いくらいです」との便りが届きました。ヨーロッパの広い範囲が、日本とまるで正反対の今夏の様子です。

東京では三九・五度という猛暑に加えて、ビル群や住宅街、膨大な量の車から出る排熱で、“ヒート・アイランド”現象。さらに、突然の集中豪雨など。「映画・ディ・アフター・トゥモロー」のようになるのかなあ」と娘が心配するのも分かります。

さて、今年も八月一五日がやってきました。来年はいよいよ戦後六〇年を迎えます。あの悲惨な戦争を二度と繰り返さないという反省のもとに生まれた憲法を憎み、今また歴史を後戻りさせようとたくらむ勢力がのさばってきました。

□先では「地球にやさしい」といいながら、利益のためなら地球環境の破壊も省みない財界、「世界平和に貢献する」といいながら、人々のくらしやしあわせも踏みにじり、ふたたび戦争への道をひた走ろうとたくらむ政界。

おかげさまで、富士国際旅行社はこの秋、創業四〇周年を迎えます。これまで弊社を支えてくださいました皆様とともに、“PEACE, GREEN, HUMANA NITY”の旗を一層高く掲げて、この時代を乗り越える楽しく、有意義な企画づくりに邁進する決意です。引き続きご愛顧をお願い申し上げます。（MK）



記録映画『白神の夢』
～森と海に生きる～

地球の創生からミジンコまで

白神山地の麓、青森県との県境に位置する秋田県八森町の小学生たちが、映画の中で自分たちが生活する白神山地についてのさまざまなことを学んでいく。白神山地に存在するすべてのもの。それはブナであり土であり酵母菌であり、日本海である。白神山地の歴史。それは地球の誕生から永い永い年月を得て培われた自然の不思議である。白神に生きる人。白神に魅せられてしまった人。白神に関わるたくさんの人間たちを通し、彼らは白神山地の魅力をどんどんと見出していく。一つ一つ発見する度に輝く小学生たちの笑顔が、観終わったあと何よりも深く印象に残る。描かれたのは子どもたちだが、映画を通して白神山地に生きる人々の生活そのものを感じることが出来た。200分という時間をフルに使い、実に多種多様な角度から白神山地の様子が描かれている。「知ることの喜び」を素直に感じることの出来る素晴らしい映画である。地域・学校などでの自主上映会が各地で行われています。

●お問い合わせ先

「白神の映画をつくる会」代表：山下勉

電話：03-5958-2627

携帯：090-2558-1492まで。

※8月28日（土）都内で試写会、12月都内で自主上映会を予定しています。

●詳細は富士国際旅行社・原沢まで。

音楽と美術、名物トリュフと料理教室
ルネサンス芸術とアグリ宿 イタリア冬の旅9日間

2005年 1月12日(水) ～ 1月 20日(木) 345,000円
2005年 2月 9日(水) ～ 2月 17日(木) 347,000円
2005年 3月 9日(水) ～ 3月 17日(木) 365,000円
ローマ②→フィレンツェ②→トスカーナのアグリツーリズモ（田園ホテル）③

◇ローマからルネサンス芸術の宝庫フィレンツェへ。トスカーナの小さな町村を訪ね、アグリツーリズモの宿に3連泊。ゆったり、たっぷりイタリアの魅力を満喫。

◇近年注目されるアグリツーリズモ。アグリ（農業）とツーリズモ（旅）をあわせた造語。イタリアの自然、家庭的なもてなしなど新しいスタイルの休日をお楽しみ下さい。

◇ローマのパチカン美術館、ウフィッツィ美術館などフィレンツェのルネサンス芸術の数々、オペラや音楽会、アグリ宿ではトリュフ狩りとイタリア料理教室・・・冬なればこそイタリアざんまい。芸術と素晴らしい料理の数々、人とのふれあいが満載



キャンティワインの故郷を歩く
イタリア・トスカーナ ウォーキング10日間

2004年10月 4日(月) ～10月 13日(水) 368,000円
2004年10月13日(水) ～10月 22日(金) 365,000円
2005年 3月14日(月) ～ 3月 23日(水) 334,000円
2005年 3月23日(水) ～ 4月 1日(金) 336,000円
2005年 4月13日(水) ～ 4月 22日(金) 338,000円
2005年 5月11日(水) ～ 5月 20日(金) 353,000円

フィレンツェ②～キャンティ地方の農家の経営する宿や100年以上前に建造された古城④～シエナ②

●3日間の田舎のウォーキング

●ホテルはアグリツーリズモ（農園民宿）やヒストリカルホテルを利用します。

●芸術と歴史の薫るフィレンツェとシエナを訪問します。



スローフード・イタリア
第5回サローネ・テル・グスト（食の祭典）を訪ねる旅

日程：10月20日（水）～26日（火）
定員：20名（最低実施人員12名）
料金：358,000円



Slow Food®

◇食の安全を大事に、地場の食材と伝統的な料理を守ろうというスローフード運動とスローなライフスタイル。いま日本でも大変注目されています。食の祭典では、広い展示会場に様々なコーナーを設け、実際に試食・試飲することもできます。

◇あわせて、スローフード運動に参加するアグリツーリズモ（農園民宿）に宿泊し、伝統的な郷土料理と地場のワインを堪能します。

①成田空港発、空路トリノ経由でピエモンテのアスティへ②③終日、スローフード協会が主催するサローネ・テル・グストに参加。味のワークショップなど④紅葉のブドウ畑の丘陵を縫って、古城とワインセラー巡り。古城でのワインテイスティング⑤スローフード協会会員のアグリツーリズモで、郷土料理とワインを堪能⑥トリノ発空路帰国へ⑦成田空港着

アジアの風フェスティバル

～民衆の音楽の交流と連帯～

《四カ国のアーティストを招いて、沖縄と東京で公演》

EVENT
イベント
紹介
EVENT

お 話：滝本英市さん（日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会事務局長）
聞き手：広田彰夫（富士国際旅行社・営業部二課）

まず公演開催の動機、趣旨
についてお聞かせください。

昨春秋「草の根の民衆の歌の交流を実現し、とりわけアジアの音楽運動のゆるやかなネットワークをつくらう」と韓国の音楽人協会とも連絡をとりあいながら、二〇世紀の音楽運動にたずさわってきたうたごえ運動、労音運動が「民衆のうたの交流と連帯」をかかげ、国際連帯運動を推進している日本AALA（アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会）と連携して行事をおこなおうとして企画したのが始まりです。

二一世紀に入り、ASEAN（東南アジア諸国連合）を中心とした政治、経済、安全保障などの条約や宣言、共同体づくりが急ピッチですめられようとしているなかで、民衆レベルの交流や連帯がとても大切になってきていることもあり、タイムリーな企画だと思っています。昨年はアジアの年といわれ、商業レベルでもさまざまなコンサートが開かれていました。

アジアといっても広いですね。今回のアーティストを選んだ経緯は？

そうですね。ひとくちにアジアといっても一〇カ国以上あるんですね。すべてというわけにはいきませんし、公演

の時間配分もあるので、三

四カ国にしました。各国内で民衆のうた、抵抗のうた、働く者のうたなどを歌い、よく知られている人を選出し、交渉してきました。インドネシアで抵抗運動の歌の第一人者であるイワン・ファルス氏も名前があたりましたが、都合がつかせませんでした。最終的には日本、韓国、ベトナム、中国からのアーティストとなりました。

今回のコンサートに期待することとは？

日本AALA、日本のうた

ごえ全国協議会、東京労音の

三団体が初めて共同で取り組み、二一世紀のいまアジアの民衆の音楽（うた）の交流と連帯、平和を考えていこうというこのフェスティバルは、大きな意義をもつものだと思います。沖縄では、うたごえ祭典の一環として十一月二日に、東京では二四日に開かれます。ぜひ多くの方々に聞いてもらいたいと願っています。

いまから楽しみです。お忙しい中、ありがとうございます。

東京公演

11月24日（水） 18：30～ 五反田ゆうぽうと
指定席：5,000円 自由席：4,000円



小室 等

（日本、シンガー・ソングライター）
1968年フォークグループ「六文銭」を結成。1972年「出発の歌」（上條恒彦と六文銭）が第2回世界歌謡祭でグランプリを獲得。現在はコンサート活動を中心に、テレビドラマやミュージカルの音楽、エッセイの執筆など幅広いジャンルで活躍。



普天間かおり

（日本、シンガー・ソングライター）
1991年デビュー。アニメのテーマソングを中心に活躍。沖縄への想いを綴ったアルバム「真南風」「14粒の愛のしずく」など。



キム・ウォンチュン（金元中）

（韓国、フォーク歌手）
1987年南北統一問題を歌った「ジンニョエグ（直女へ）」を発売以来現在まで、韓国の情緒と民族的な歌を歌い続ける。80年の光州事件を体験したことから、光州の精神（自由・民主・人権）を歌う民衆歌手として活躍。



シュイ・クウ（許可）

（中国、国際的二胡奏者）
1999年ルイジアナ州立大客員教授になる。2003年カーネギーホールでデビュー。



ビーク・ホーン

（ベトナム、歌手）
ホーチミン市音大で学ぶ。1998年音楽マスターを取得。ホーチミン市音大教授、同市合唱団ソリスト。

問い合わせ先：日本AALA「アジアの風」係
TEL：03-5363-3470 FAX：03-3357-6255

25 藤本了江さんのエスニック料理

ふじもとすみえ。家庭科教育（研究家。日本AALA理事）

ethninc cooking

かもわ出版「家庭でできるエスニック料理」より

中国

チンツァイツァーシャンクウ
青菜炒香菇（チンゲン菜と椎茸の炒めもの）

材料（4人分）

チンゲン菜……………（大株）2個
干し椎茸……………（大）16枚
塩・サラダ油……………各少々



- ①干し椎茸を水で戻し、軸をとっておく。じくを取っておく。
- ②中華鍋にサラダ油を入れ、①の椎茸をまるのまま炒め、塩で味つけし、皿に取る。
- ③鍋にサラダ油を足して、チンゲン菜を炒め、塩で味つけし、②の椎茸を戻してさっと炒めて盛りつける。

デリー・アグラ・コルカタ・シリグリー・ダージリン 第18回銀河鉄道の旅 イント11日間

2005年1月5日（水）～15日（土） 295,000円

成田・関西空港発→デリー②→車中①→コルカタ（カルカッタ）②→シリグリー①→ダージリン②→デリー①→成田・関西空港着

<旅の魅力>

- ★世界一美しい霊廟、世界遺産のタージマハールとアグラ城を見学、インドの深い歴史と文化を堪能します。
- ★インド東北部のデリー、コルカタ、ダージリンを鉄道で巡ります。この時期は乾季で旅のベストシーズンです。
- ★世界遺産に指定されている、ダージリンヒマラヤ鉄道に全線乗車！トンネルがないため車窓風景が満喫できます。
- ★デリーでは、インド鉄道労働組合を訪問。インド鉄道の現状について直接お話を伺います。またデリー駅や、デリー鉄道博物館も見学します。「銀河鉄道の旅」ならではの企画です。
- ★夜行特急ラジダニー号でデリーからコルカタへ、シャタプディエクスプレスでアグラからデリーへ、インド唯一の地下鉄などに乗車するチャンスもあります。

うたごえ喫茶「ともしび」歌手・小川邦美子さんとゆく 中国・北京 うたごえ交流の旅

10月30日（土）～11月3日（水／祝） 145,000円

北京滞在5日間

<旅の魅力>

- ★北京景山公園などで市民が集う野外うたごえに参加・交流。また、市民合唱団との交歓会も予定しています
- ★北京の家庭を訪問して本場の餃子づくりを体験、市民の生活にふれることができます
- ★広大な故宮博物院、天安門広場、万里の長城も見学します
- ★艶やかな京劇や中国少数民族舞踊特別公演を鑑賞
- ★盧溝橋抗日纪念馆を見学し、日中不再戦を学びます



シディ・ブ・サイド

地中海とサハラ砂漠、そして世界遺産の古代遺跡群へ チュニジア歴史探訪の旅 10日間

2004年11月22日発 315,000円

2004年12月27日発 380,000円

2005年 3月21日発 335,000円

日本AALA後援

- ★「カルタゴ遺跡」「古代ローマ遺跡」をはじめとする世界文化遺産を見学します。
- ★観光列車レザールージュに乗り、セルジャ渓谷へ
①午後成田発 深夜チュニス着<チュニス2泊>②終日モザイクコレクションで有名なバルドー美術館見学など③午前カルタゴ遺跡見学=ピュルサの丘、アントニヌス帝の大浴場 ザグーアンのローマ水道橋見学 カイラワン着<カイラワン2泊>④午前イスラムの聖地カイラワン見学=グランモスク、シディサバブモスク、アグラブ朝の貯水池など 午後エル・ジェムの古代ローマ円形劇場見学 カイラワン着⑤午前カイラワン発 スペイトラのローマ・ビザンチン遺跡群見学 サハラ砂漠のオアシスの町タメルザへ<タメルザ泊>⑥午前タメルザ発 4WDでミデス渓谷見学 塩湖ショット・エル・ジェリドを横断 ドゥーズ着<ドゥーズ泊>⑦午前ドゥーズ発 途中、ベルベル人穴居住宅の村マトマタ見学 リゾート地ジェルバ島着<ジェルバ2泊>⑧午前ジェルバ島内見学=シナゴーク 午後：自由行動⑨午前ジェルバ発<機中泊>⑩夕刻成田着